

<森のクイズラリー> 解説シート 2021 年度冬版

A

Q. 冬の間、八ヶ岳から甲府盆地にかけてふく冷たくて強い風を「八ヶ岳●●●」といいます。●●●にあてはまるものはどれでしょう。

- ① つむじ ② さらい ③ おろし ④ しまき

【こたえ】 ③おろし

冬の間八ヶ岳から吹いてくる強く冷たい北西の風を「八ヶ岳おろし」といいます。山から吹き下ろす風は「おろし」と呼ばれ、代表的なものに兵庫県の「六甲おろし」、群馬県の「赤城おろし」などがあります。八ヶ岳の権現岳には「風の三郎」という風の神様が住んでいて、八ヶ岳おろしを吹かせているという伝説も！宮沢賢治の童話『風の又三郎』のヒントになったとされています。

B

Q. 清里高原の厳しい冬でも、多くの鳥たちがとび回っています。ロシアや中国などから渡ってくる『冬鳥』と呼ばれる鳥たちです。次のうち、冬鳥はどれでしょうか。

- ① ウソ ② フクロウ ③ ミソサザイ ④ キビタキ

【こたえ】 ①ウソ

野鳥は春に北の生まれ故郷に戻って繁殖し、秋には南の越冬地に移ります。どの時期に日本にいるかによって夏鳥や冬鳥といった言い方をします。冬鳥はウソ。キビタキは夏鳥。フクロウとミソサザイは留鳥（りゅうちょう）と呼ばれ、一年中同じ場所で見ることができます。冬は木の葉が少ないので、鳥を観察するのに最適な季節です。

双眼鏡を持って鳥を観察しに行きましょう！

C

Q. ヤマネは冬の間、冬眠をするいきものです。
ヤマネの冬眠中の体温は次のうちどれでしょう。

- ① 30℃ ② 15℃ ③ 5℃ ④ 0℃

【こたえ】 ④ 0℃

八ヶ岳では11月の下旬ごろになると、ヤマネは冬眠の準備に入ります。立ち枯れた木の中にねどこを作り、約半年もの間冬眠します。その間の体温はほぼ0℃と言われており、外気温が0℃以下になると一度起きて暖かい場所へ避難することもあるそう。

そして外の温度が暖かくなり春になると少しずつ体温を上げ、冬眠から目覚めます。

① の30℃はツキノワグマの冬眠中の体温、③の5℃は北海道にすんでいるシマリスの冬眠中の体温です。

D

Q. ぬかるみや雪の上では動物の足跡を見つけることがあります。
右の絵は【シカの足跡】で、2つの蹄の跡がついています。蹄は指が変化したのですが、人間の指で例えると、どの指になるでしょうか？



- | | |
|-----------|-----------|
| ① 親指と人差し指 | ② 人差し指と中指 |
| ③ 中指と薬指 | ④ 人差し指と小指 |

【こたえ】 ③中指と薬指

清里高原の森にはたくさんのシカが暮らしていて、土の上や、雪の上ではピースサインのようなシカの足跡を見つけることができます。

この足跡は蹄で、人間の指なら中指と薬指にあたります。上の絵では見えませんが、蹄の後ろには副蹄（ふくてい）という滑り止めの役目をする小さな蹄が2つあり、これは人差し指と小指にあたります。親指はありません。

E

Q. その場でそっと目を閉じて、10秒間周りの音を聴いてみましょう。
それはどんな音ですか？聴こえてきた音で一番のお気に入りを書いてみましょう。

【こたえ】 あなたが書いた答えが正解！

八ヶ岳自然ふれあいセンター周辺の森では、耳をすますと野鳥や虫、風など心地よい自然の音が聴こえてきます。森の中では、時々少し立ち止まり周りの音に耳をすまして、ゆったりとした気持ちで過ごすことをおすすめします。

四季によっても、森から聴こえてくる音は違ってくるのでぜひまた別の季節にも清里に来てみてくださいね。

SDGs（エスディーゼズ）を知っていますか？

SDGsは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の頭文字を取ったもので、2015年の国連総会で提起された持続可能な社会を実現するための2030年時点の17つの達成目標です。



難しく聞こえるかもしれませんが、「誰にとっても平和な社会を創るために、2030年までにみんなで一緒に取組んでいこうという目標」です。SDGsは「自分だけ、今だけ」となりがちな人間の視野を、「みんなのことを、未来のことを」と広げてくれます。「みんな」とは人間だけでなく、自然の生き物たちも含まれます。

できることは一人一人違います。何十年後、何百年後の人間や生き物たちが平和に暮らせる社会を作るために、自分には何ができるのか、ぜひ考えてみてください。